

2012年度 大震災復興政策プロジェクト 第1回責任者連絡会議 議事録

日 時：2012年2月2日（木）13時30分～16時

場 所：研究所会議室

出席者：松丸（責任者）、坂庭、鈴木、高木、辻村（以上委員）、市村、越智、庭野、村松
（以上委員兼事務局） 9名中9名出席

資 料：「大震災復興政策プロジェクト責任者連絡会議」 「別紙資料」

議事および決定事項：

※資料に基づきより事務局より報告、提案を行なった。内容は資料参照。

- (1) 2011年度のプロジェクト活動経過について、第23回総会（2011年12月17日）で承認された内容を確認した。
- (2) 2012年度の研究所の重点方針と2012年度のプロジェクト方針について、第23回総会で承認された内容を確認した。
- (3) 2012年度のプロジェクトは、東日本大震災によって建設分野でどのような問題が生じているのか実態をきちんとつかみ、その打開策を明らかにする。問題発見・把握にあたっては、参加団体への（専門委員を通じた）聞き取りと現地調査を行う。
- (4) プロジェクトでは、各参加団体の状況と情報を総合的にとらえ、問題の打開にあたっての（理論的な）切り口を発見し、参加団体に提供（貢献）する。
- (5) さらに、上記(3)に加えて、これからの防災・減災にかかわる政策提言を行う。具体的には、防災計画見直しへの提言など。
- (6) 上記(3)～(5)への取り組みは、引き続き3部会と責任者連絡会議を設置して進める。プロジェクト・部会は、委員（うち4名は事務局兼務）と専門委員で構成する。
- (7) 専門委員は、所属団体の東日本大震災への取り組み内容や課題、現地（被災地・被災者）の状況などを把握して、プロジェクト・部会に提供する（上記(3)も含む）。それらを踏まえたプロジェクト・部会の成果を、所属団体や現地（被災地・被災者）にフィードバックする。
- (8) 委員と専門委員の案を別紙のようにし、本案を本日の会議の出席者以外に報告し、かつ、専門委員には任務を説明・お願いし、了承を得る。
- (9) 会合は委員の都合のよい日程で調整し、案内は委員と専門委員に出す。
- (10) 部会の課題を下記のようにする。
 - ◆生活支援・営業支援／防災計画部会
「大震災復興政策プロジェクト報告書」（第23回総会承認）記載の課題。
 - ◆公共事業／エネルギー部会
「大震災復興政策プロジェクト報告書」（第23回総会承認）記載の課題。
 - ◆住まい・まちづくり部会
「復興すまい・まちづくりの課題について」（2011年12月21日）記載の課題。「大震災復興政策プロジェクト報告書」（第23回総会承認）記載の課題を同様に差し替える。
- (11) 今後各部会による取り組みを進めた上で、次回責任者連絡会議を4月19日（木）18時から行なう。

別紙

2012年度プロジェクトメンバー案

責任者 松丸和夫
委員 坂庭国晴 鈴木浩 高木直良 辻村定次
鎌田一夫 徳本茂 永山利和 山本篤民 若山徹
専門委員 久保貴裕（自治労連） 島野義人（埼玉土建）
広瀬肇（建交労） 中山真（全商連）
船越宣樹（東京土建） 紺野広巳（神奈川建設労連）
大友詔雄（株式会社NERC） 桑原厚（千葉土建）
松本義浩（全建労） 下元幸夫（全港建） 田中政広（神奈川土建）
事務局 市村昌利 越智今日子 庭野峰雄 村松加代子

◆部会別構成（順不同）

①生活支援・経営支援／防災計画部会

責任者 辻村定次
委員 鈴木浩 松丸和夫 山本篤民
専門委員 久保貴裕 島野義人 広瀬肇 中山真
事務局 村松加代子

②住まい・まちづくり部会

責任者 坂庭国晴
委員 鈴木浩 鎌田一夫 徳本茂 若山徹
専門委員 紺野広巳 齋藤圭司 船越宣樹
事務局 越智今日子

③公共事業／エネルギー部会

責任者 高木直良
委員 永山利和
専門委員 大友詔雄 桑原厚 下元幸夫 田中政広 松本義浩
事務局 庭野峰雄 市村昌利

◆責任者連絡会議メンバー ※構成：プロジェクト責任者、部会責任者、事務局

責任者 松丸和夫
委員 坂庭国晴 鈴木浩 高木直良 辻村定次
事務局 市村昌利 越智今日子 庭野峰雄 村松加代子